

石棚山ー同角ノ頭ーユーシン

山行日：2015.10.24

単独（TH）

天候：晴れ

コース：箒沢公園橋/8:20ー板小屋沢ノ頭/9:30ーヤブ沢ノ頭/10:10ー石棚山/10:25ーユーシン分岐/11:17ー同角ノ頭/12:25ー大石山/13:40ーユーシンロッジ/14:20ー玄倉/16:35



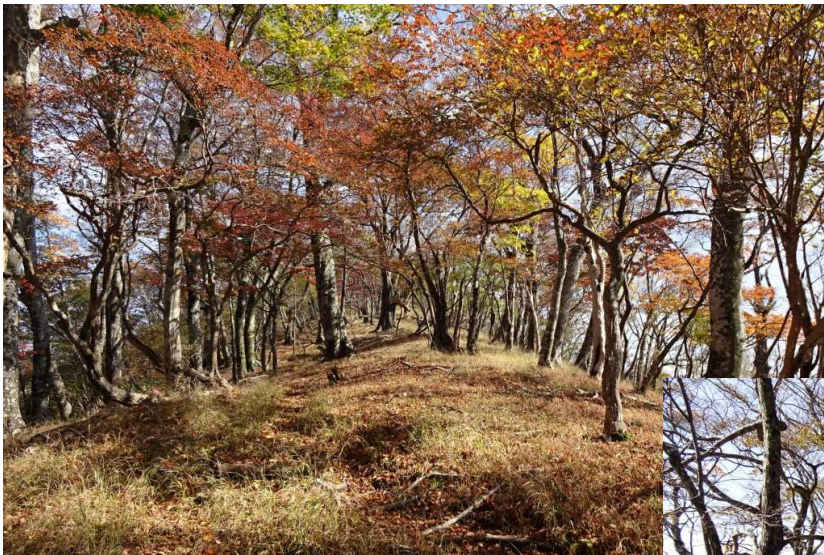
臨時バスに乗って少し早めに出発できた
一気に500mの高度差を稼ぐ



稜線に出ると既に紅葉が始まっていた



プロムナードに入ってきた

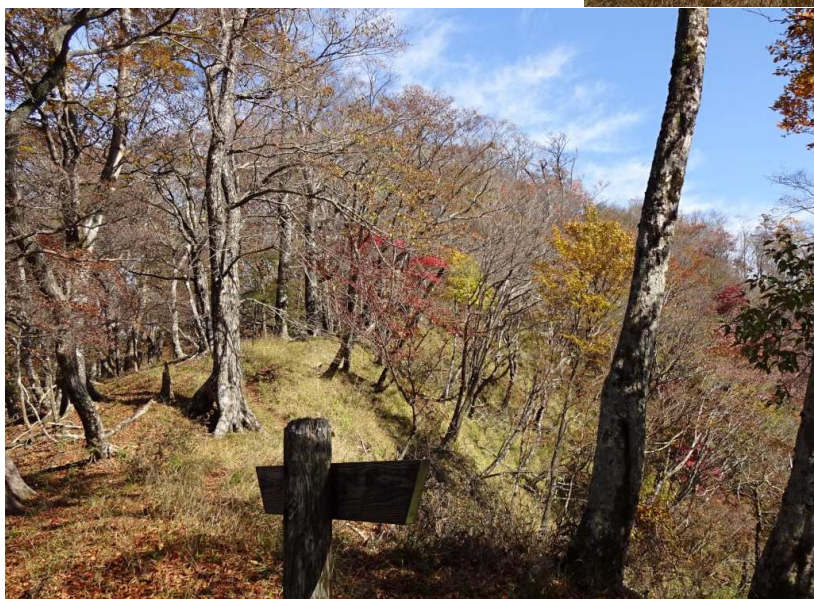




石棚山の核心部



ユーシンへの尾根（同角山稜）
アップダウンを繰り返して降りてゆく
ことに



檜洞丸へはあと少しだが
しかし今日は
ここからユーシンへ向かう

やはり
紅葉には青い空は欠かせない





一気に
踏み跡は
うすくなる



紅い絨毯路



ピラミダルな山容なのに
急な階段が山頂までつづいている

誰も居ないので寂しい同角ノ頭





金山谷ノ頭尾根、臼ヶ岳を
従えて
風格がある丹沢の盟主
蛭ヶ岳

名ばかりの「キレット」、雑木に覆われて
下をよく覗かないとわからない切れ間



同角山稜特有のひやひやドキドキのアップダウン開始



大石山からの最後の雄姿

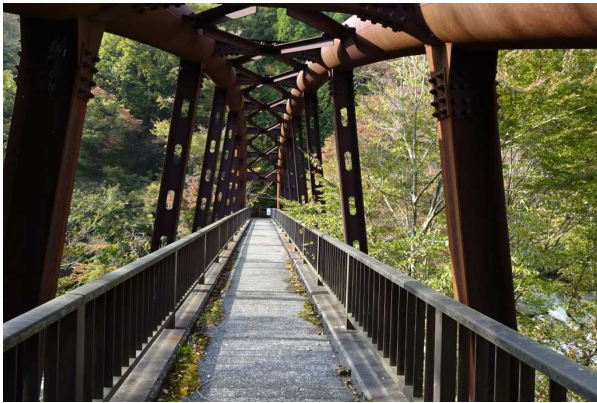




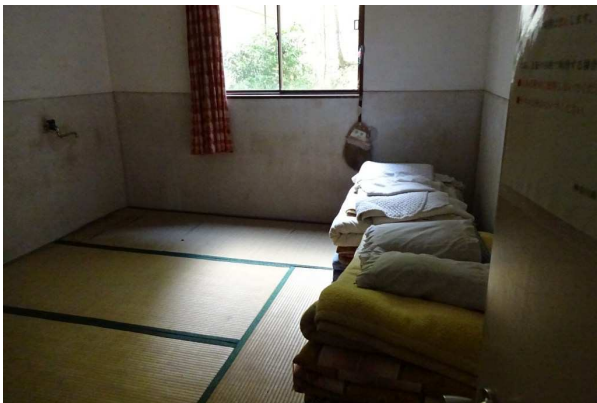
落葉で踏み跡は見え、登山道は左へトラバースする
集中



していないとコース外に入り込み、遭難してしまう時期



不釣り合いな立派な鉄橋を渡り
何回も利用したユースンロッジに無事到着



今、一人では怖くて泊まれそうもない

避難小屋
代わりに
2部屋が
開放されている



補修が完了した新青崩隧道
道路地面は舗装されていた



ゲート前の駐車場にはまだ数台の車がかった

悲劇の起きた玄倉川
まだオートキャンプ場が
整備されていなかった頃
子供を連れて良くテン泊した
場所だ

自己責任のあいまいさが原因
だったやりきれない遭難だった



河原への降り口は嚴重になっていた



さすがに2時間も林道歩きを
すると嫌になる頃
玄倉バス停にバスがやってきたと思ったら
西丹沢自然教室行きの乗客のいないバスだった
このバスが引き返してきて新松田に向かう